

12
2023

Taiwan Note

台湾師範大学に
留学する

立っ鳥跡を濁さず

みあさめ台湾ギャラリー
どうする銀行口座

台湾師範大学に 留学する

最後なので、師大での留学を振り返ってみる。
歴史なんかは公式サイトをご覧ください、
私からは学校の雰囲気などを紹介しようと思う。



写真は本部の校舎前の様子。毎日とは言わないが、日々何かしらのサークルや学科がイベントをやったり売店を設けていたりする。色々やっていたが、各国の食べ物を売っていたイベントがいちばん記憶に残っている。さすがは多くの留学生をかかえる大学。どれもおいしかった。

興味があるならサークルに所属してみるもよし、イベントに参加するのみでもよし。不思議な縁で、コスプレサークルのイベントで出会った友達と8、9か月も言語交換する仲間なれたりもした。なんでも参加してみるものだ。

各国からの留学生

まず驚いたのは、留学生の多さだ。東・東南アジア、欧米、アフリカ…世界中から学生が集まっており、寮でも大学でもいろんな言葉が聴こえてくる。中国語が流暢に話せる学生ばかりではないので、やはり英語ができるとういのだろう。私はできなかったのですが、すべてジェスチャーとパッションと勉強中の中国語でなんとかしてきました。韓国のアイドルかアニメの話のどちらかができれば多分なんとかなる！美食の話でもよい。まちがいない。

いろんな国の話を聞くと、旅行に行きたくなる。これはルームメイトの影響なのだが、お金を貯めたら絶対にドイツと中国(大陸)には行こうと決めた。結局、いちばん話をした留学生の友人と言えばルームメイトなので当然である。それぞれの学期、4か月しかなかったものの、旅行したりご飯食べたりゲームしたり、一緒に過ごせて楽しかった。帰国後もたまに通話したりするおかげで、中国語を話す機会があってありがたい。台湾で得た友人のすべてに感謝である。

中国語の授業の選択肢が多い

師範大学の交換留学生は、任意でMTCという語学学校の授業を無料で受講できる。こちらは師範大学の授業と違い少人数制なので、発言の機会が多い。各3時間、週2回(週6時間)の価値はある。個人的にはおすすめだが、師範大学の取りたい授業とスケジュールが被る場合はMTCを取らないもよし。少人数で中国語の文法や単語を勉強したいならMTC、会話・文法・発音…と選択肢が豊富なのが師範大学というイメージ。

デザイン学科の授業

私が履修したのは3DCGの授業なので、以下の話はそれに限るということを先に述べておく。SUACにも映像系の授業に似た内容があるものの、進め方がSUACとは違う。SUACでは基本的なソフトの使い方を説明したら、あとの技術的なことは学生に委ね、むしろ発想やアイデアのほうに時間をかける。対して師範大学の授業は技術面をみっちり教え、中間・期末課題で自由に作らせるスタイル。私はアイデアが出ないと悶々として気分まで落ち込んでくるタイプなので、とりあえず手を動かして、授業に出席していればある程度ソフトが使えるようになるスタイルが合っていた。周りのレベルが高いため、中間や期末は程よいプレッシャーがある点もよい。SUACと師大の共通点は、先生に質問しやすい…というか、たくさん質問をしてたくさん助けてもらった点である。そういうサポート面はどちらも似ていると思う。

立つ鳥跡を濁さず

台湾の見納め、寮の掃除、そのほか帰国する前にやっておきたいことは大体やりきったのだが、帰国した2日後に發票(買い物した時に参加できる抽選)当選のお知らせをみてしまったことが唯一の心残りである。沒辦法。算了…。

退校申請

退寮手続きに比べて忘れられがちな退校手続き。メールでアナウンスが来るので見逃さないように気をつけよう(私は見落としてた…)。

申請書 ▶ ハンコ集め ▶ 提出

印刷



自分の学科の辦公室

私の場合は華語系



図書館



寮

授業の最終日より前に、学科のハンコだけはもらっておくとあとがスムーズ

退寮の手続き

退寮前にすべきことは荷造りと掃除である。部屋を元通りにしたら学生スタッフに確認してもらい、合格証をもらう。あとは受付に合格証を提出して終わりである。シンプル。

実は、自前で用意していた有線のインターネットケーブルが寮の壁から抜けなくなるというトラブルがあったのだが、それはスタッフに話したら何とかなった。受付にケーブルが抜けなくなったと伝えれば良いとのこと。最後までお手数おかけしてすみません…。

自力で解決できない問題があれば、スタッフさんに相談してみてください。

Take Free

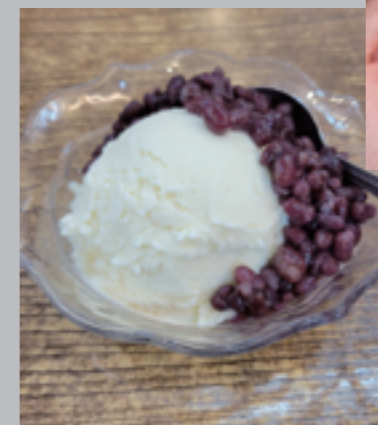
今学期末、学生委員会の提案で、寮の1階にTake Freeコーナーが新設された。前学期末、帰国するルームメイトや友人から「捨てられるくらいなら！」とあらゆるモノ(とくにハンガー)を回収したのが懐かしい。クローゼットが服よりもむしろハンガーでいっぱいだった。今回は私も帰国するので、知り合いにいくら分けた後、Take Freeコーナーに置きにいった。コーナー付近には学生のみならず、掃除スタッフのおかあさんたちまでもが待ち構えており、あっという間に回収されていった。大事に使われてください。

みおさめ 台湾ギャラリー

12月の個人的な流行語は「ファイナルだから」
人生初のおひとりさま旅行を試みたり
ルームメイトと思い出を作ったり
色々お金もかかったが「ファイナルだから」、後悔を残すわけにはいかない。



▲台南でルームメイトと囲んだ牛肉火鍋。台南で食べる牛肉は大体おいしい



◀一見バニラに見えるこれは豆花アイス
また食べたい



▲嘉義の火雞肉飯が忘れられなくて帰国前にまた食べに行った。柔らかな肉と卵が最高

師範大学の▶近くで食べられる青いラーメン
出汁のきいたあっさりスープで美味



どうする 銀行口座

台湾でつくった銀行口座、帰国後しばらく放っておいて大丈夫だろうか…と心配になったので、銀行のスタッフさんに聞いてみた。
國泰世華銀行の場合、2年放っておくと支出の詳細が見られなくなる(まとめられる)ものの、それだけのこと。どうやら日本のように、長年放っておくと口座のお金が国へ…という心配はいらないらしい。
※法律は変わるかもしれないし、銀行によって異なる場合もあると思うので、都度自分で調べよう！
参考までに！

